

# 社会的殺処分されるイヌ・ネコの保護、QOL向上のための活動を行うとともに、ペットと人間社会との優れた共生環境社会の実現を目指します。

私たちヒューマンン財団は、  
慈愛と賢明さをもつすべての人々と手をつなぎながら、  
2022年までにイヌ・ネコの社会的殺処分をなくすとともに、  
イヌ・ネコを法的に器物として取り扱う社会環境を変えていきます。



**Pets Aid JAPAN Project** [ペット エイド ジャパン プロジェクト]

### 社会的殺処分0 (ZERO) を実現する

約3分に1頭のイヌ・ネコが社会的殺処分（2013年）される現実。全国に施設を設置し終生飼養、セカンドオーナーとの縁結び、適性のあるイヌ・ネコは、人や社会に貢献するペット（ヒューマンンペット）としてトレーニングを実施します。イヌ・ネコの命を守り、そのセカンドライフ充実のための事業を行います。

**Pets Democracy Project** [ペット デモクラシー プロジェクト]

### 日本のペット社会のさらなる進化のために

イヌ・ネコと人、社会との共生環境の改善、充実をすすめます。共生環境に関する未来図、政策を立案し、関係する諸機関に働きかけなどを行います。

**Asia Pets Frontier Project** [アジア ペッツ フロンティア プロジェクト]

### アジアに向けたペット愛護・福祉の普及啓発と交流

イヌ・ネコを通じた国際交流事業。アジア諸国との交流を行い、アジア地域の平和と相互理解に寄与します。

## ● Pets Aid JAPAN Project ペット エイド ジャパン プロジェクト

### セーブライフ プログラム

イヌ・ネコの社会的殺処分ZEROを実現するために、地方自治体等の動物愛護センター・保護団体・個人等より飼育困難な状況にあるイヌ・ネコを受託し、安全で衛生管理の整った施設において、動物福祉・愛護の精神をもって飼養（終生飼養を基本）します。当施設において受託飼養するイヌ・ネコは心身の健康状態、適性をチェックし、セカンドオーナーに譲渡するしくみ（縁結

びWEBサイト）により、ペットとして新たな人生を歩みます。また、優れた特性や可能性を持つイヌ・ネコについては専門的なトレーナーによる訓練を受け、社会や人の役に立つペット（ヒューマンンペット）としてのセカンドライフの道に進んでいきます。当施設において、優先受託飼養するイヌ・ネコは、地方自治体に収容され、新たなペッ

トオーナーへの譲渡の機会に恵まれず殺処分が確実視される（デッドラインペット）イヌ・ネコ、保護団体・個人ボランティア・ペットオーナーが高齢、死亡等により飼養困難となったイヌ・ネコとします。施設は、今後、北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州の各地域に設置を計画し、総数で1万頭のイヌ・ネコの飼養を可能とする体制を整えます。



### 被災地からのスタート～共に生き抜く～

第1号施設は、福島県内に設置を計画、準備を進めています。福島では未曾有の大地震および原発事故と放射能汚染により、自然も人も社会も大きな傷を受け、今なおゴールの見えない再生への苦闘が続いています。飼い主に捨てられ、殺処分を待つという理不尽な運命を背負わされたイヌ・ネコたちの命を救い、新たな生になんか本プログラムは、福島でこそ実施したいと考えていま

す。全国の動物を愛する人々の理性と愛情を福島の地に集め、福島の復興に貢献しつつ、ともに再生への道を歩んでいきたいと思えます。



**ヒューマンンつくしまハウス**

名称（仮称） ヒューマンンつくしまハウス

施設開設予定 2015年 秋

設置予定地 福島県内

飼養規模 1,000～1,500頭

### ヒューマンンペット育成プログラム

セーブライフプログラムにより当施設で飼養するイヌ・ネコの中から、健康で適性のある個体を選抜し、オーナーの希望する

作業や目的を行うため、訓練を実施し、譲渡または貸与します。ヒューマンンペットトレーナーを育成

し、ヒューマンンペットの普及を広げます。（ヒューマンンペットトレーナー養成アカデミー開講予定）

#### Wellness Support Pets

■ユーザーの心身の健康の回復・維持促進の為に使用  
[うつ・メンタル不調・引きこもり・高齢独居者の軽運動等]

#### Joyful Pets

■発達障がいの子供や病児の成長をサポートする為に使用  
[犬との共同生活・ふれあいを楽しむ]

#### 【個人対象】

■独居高齢者・身体障がい者・知的障がい者・糖尿病患者・聴覚障がい者・発達障がい者・その他、突発性の病気や精神疾患のある人等

#### Helper Pets

■障がい者・高齢者等の日常生活において不自由な動作・作業を行う為に使用  
[ユーザーの指示により物を取る・運ぶ・伝える等の簡単な作業]

#### Educational Pets

■刑務所・少年院・児童施設・地域社会等における、動物介在教育の一環として、生命尊重、道徳学習等の為に使用

#### 【施設・機関等法人対象】

■医療機関・教育機関・更生施設・高齢者施設・児童施設等

## 全国初 八街少年院プログラムGMaC [Give Me a Chance~僕にチャンスを!]

#### GMaCについて

動物を介した矯正教育プログラム  
捨てられた犬たちは、飼い主から十分な世話をされなかったり、暴力をふるわれたり、さまざまな形で傷つけられた結果、怯え、人を信じることができなくなっています。非行をして少年院に収容されている少年たちにも同じような経験をした者が少なくありません。それゆえ、少年たちが自分の手で犬がふたたび人間と暮らせるよう訓練することは、そのまま彼ら自身の立ち直りにもつながっていきます。非行をして社会を傷つけた少年たちに社

会貢献の機会を与え、自己肯定感を育み、もう自他を傷つけない生き方を学ばせること。このプログラムは、捨てられた犬たちに新たな家庭が見つかるよう訓練する過程で少年院の少年たちに担ってもらうことで、少年たちの立ち直りと動物福祉の両方の実現をめざします。

#### プログラムの目的

- 少年の自己肯定感、共感力などを育み、人間性を涵養する
- 忍耐力、責任感、コミュニケーション能力など、少年たちが実社会で職に就

上で役立つソーシャルスキルを身につけさせる

- 一度捨てられた犬でも、適切なしつけと世話によってよい家庭犬になれることを社会に示すことで、命を尊重する文化を深めることに寄与するとともに、ペットショップではなくシェルターから犬を引き取る人が増えるよう促す
- 週末ボランティア、犬の引き取り手など一般市民との交流を通し、少年たちに社会との絆を持たせると同時に、市民による触法少年への理解とサポートを深める